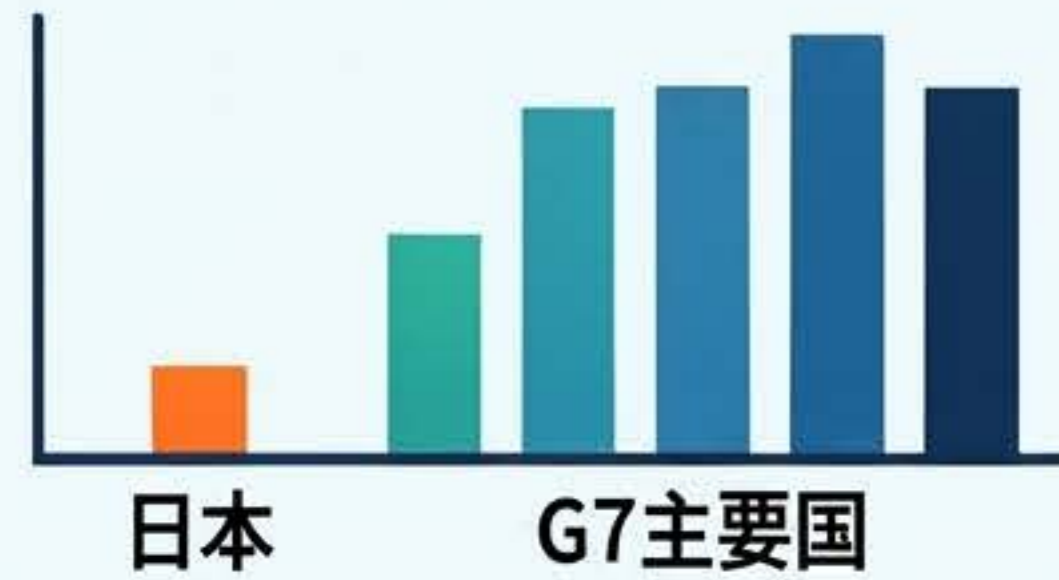


# 稼ぐ力のための知的財産：知財を経営戦略のど真ん中へ

## 日本経済の現状と「稼ぐ力」の課題

主要国で最下位レベルの「労働生産性」と「新製品投入」



日本の労働生産性はG7最下位であり、新製品・サービスの投入状況も主要国の中で最低水準にあります。

低い付加価値と「無形資産投資」の遅れ



欧米諸国に比べ、知財などの無形資産への投資額・伸び率が著しく低く、高く売る力が弱まっています。



**政府戦略：**  
知財を「横断的課題」の柱に  
日本成長戦略会議において、知財の戦略的取得・活用が新技術立国・競争力強化の鍵として位置づけられました。

コーポレート方法組織をすると「横断的課題」の進化



日本成長無形投資・分析の傘IPGAとの総理的な投資源・スロートは、競争を業業に覆る目象もなっています。

日本経済戦略の「知財経営」における募集



知財の準に必ずし、知財投資のことにT益懸産の取替寛往、価値開示が高い相除基準されます。

## 「稼ぐ」を実現する知財経営の具体策



**IPインテリジェンスによる経営判断の高度化**  
知財情報と市場情報を分析し、M&Aやブルーオーシャンの見極め、連携相手の探索に活用します。



**コーポレートガバナンス・コード(CGC)の改定**  
取締役会による知財投資の監督と、価値創造ストーリーとしての情報開示が義務的な原則となります。



**オープン・クローズ戦略による市場支配**  
標準化や特許開放で市場を広げつつ、コア技術は特許で囲い込み高い利益率(事例:40%)を確保します。

## 特許庁による知財経営支援の4つの柱

### 審査の高度化



AI活用による世界トップクラスの審査スピード維持と、事業戦略に寄り添う「まとめ審査」の実施。

### 知財経営の後押し



長官自ら経営層と対話する「トップ懇」の展開と、知財・無形資産ガバナンスガイドラインの改定。

### 海外展開支援



新興国での早期権利化を支援する「PPH Navi」の拡大と、模倣品対策の強化。

### AIトランスフォーメーション



「AIビジョン」の策定と、審査業務・ユーザー利便性向上への生成AI最大限活用。